



唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

飯能ロータリークラブ会報

“ THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS ”

ロータリーの未来は あなたの手の中に

RI会長
ジョン・ケニー
2570地区ガバナー
加藤玄静

今を大事に

第 2368 例会 2010.1.6

—— ロータリー理解推進月間 ——

天候 晴 (NO.46-28)

会長 木川一男 幹事 山川 荘太郎

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 新井君、雨間君

例会場：飯能プリンスホテル 〒357-0038 飯能市仲町11-21
☎(042)975-1111

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
<http://www.hanno.jp/~hannorc/> Eメール hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 木川会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 田辺職業奉仕委員
- ・卓話 和田浩様

【会長報告】

新年明けましておめでとうございます。
「一年の計は元旦にあり」と申しますが、ロータリー年度では折り返し地点。心新たに後半もよろしくお願い致します。

1月は「ロータリー理解推進月間」。ロータリーは親善団体でも寄付団体でもありません。RCの奉仕活動の実践は「奉仕の理想」すなわち他人に対する思いやり、「恕」の心の裏づけが無ければならないと思います。RCの理念は利己と利他の調和を目的とする人生哲学。RCの思想の集大成である決議23 34第4項には“ロータリーは単に心の状態に留まるものであってはならず、奉仕の理想・理論は実践により客観化されなければならない”とあります。RCの奉仕哲学は行動哲学と言われております(昨年の「友」6月号P19参照)決議23とは1923年(大正12年)の略。34は項目。『手続要覧』P.84~86、第6章「社会奉仕」の中に、社会奉仕に関する1923年の声明が載っております。四大奉仕部門全てにわたり奉仕の理念に基づいた実践の重要性を再確認、実践を通じてロータリーをより良く理解し、ロータリーの夢を追い続けていきたいと思っております。

【幹事報告】

- ・第8回役員会：R財団研究グループの交換チームメンバー「GSE」申請者として飯能より1名承認。2/13 IM全員登録4000円。半額クラブ負担。森会計、中間決算報告、承認。前年度とほぼ同じ。2月プログラム、承認。橋本新例会場選定決定委員長、新例会場はマロウドイン飯能に決定、承認。森45周年実行委員長、東清州RCへ案内状を送る件、承認。例会変更のお知らせ
人間南RC
- ・1/26(火)新年会 魚いち 点鐘18:30
- ・2/16(火)IM 2/13に振替

【出席報告】 MUなし

| 会員数 | | 当日 | | 前々回修正 |
|-----|----|-----|--------|--------|
| 全数 | 対象 | 出席数 | 出席率 | 出席率 |
| 63名 | 8名 | 55名 | 90.16% | 88.33% |

【SAA報告】

- ニコニコBOX
- ・新年おめでとうございます。 木川君 山川君、吉島君、半田君、高橋君、藤原君
- ・和田県議さん、ようこそ。本日はよろしくお願い致します。木川君、山川君、吉島君、半田君 高橋君、細田伴君、間邊君、新井君、矢島 巖君
- ・あと半年よろしくお願い致します。 木川君、山川君、吉島君、半田君、高橋君
- ・一丁目保存会の皆様、今日のご苦勞様です。お世話になります。今年ゴルフでも良いスタートがきれました。矢島(巖)君

- ・先日、飯能ゴルフ新年杯で準優勝しました。優勝は山川幹事の奥様、1位に矢島(巖)パスト会長さんです。新井君
 - ・昨日は商工会議所賀詞交換会に多くのロータリーメンバーにご出席頂きお陰様で盛大に出来ました。新井君、中里(昌)君、神田(康)君、細田(吉)君
 - ・12/24 埼玉県知事室において和田県議様、沢辺市長様のお立会いを頂き、上田知事よりシルバーハウス希望の圓が天皇陛下より御下賜金を拝受賜りました。これも偏に皆様の御援助の賜物と厚くお礼申し上げます。塩野君
- 本日計 28 000 円、累計額 688 123 円。
13日例会当番は馬場会員、江澤会員です。



飯能一丁目囃子保存会による演舞

【卓話】
講師紹介

山川幹事

年頭にあたり

埼玉県議会議員 和田 浩 様

埼玉県経済の動向については5日付新聞にも載っていますが、10~12月の景況感は3期ぶりに悪化に転じました。「不況」と見た企業が90.9%。雇用も有効求人倍率はH18年1.0倍超から毎月低下を続け、H20年4~6月期の失業率は4.8%となっております。県内総生産産額はH18年、21兆円。これは全国5位、フィンランド、ポルトガルに次ぐ規模です。

県内企業の99%以上が中小企業、88.6%が小規模企業で、県経済は中小企業、小規模事業者によって支えられている状況です。

課題1) 経済危機を乗り越える経営力強化と、中期的視点から、課題2) 新たな需要を創出するための取組みを県では行っています。

課題1) に対する「景気悪化に対する緊急支援策」としては(1) 売上減少や収益悪化による中小企業への影響を踏まえH21年1月に緊急中小企業相談窓口を設置、9月末までに29,869件の相談が寄せられました。(2) 商工団体経営指導員による巡回指導は31,809件。地域密着型商談会を加須市、朝霞市等で開催。(3) 省エネ・コストダウンの環境対策アドバイザー等2名配置。(4) 「下請け駆け込み寺」は中小企業振興公社が取引先倒産に伴う代金回収に対する相談を受けるものですが、昨年より約3倍の増加。(5) 販路開拓事業としてさいたま市に展示商談会を設置。(6) 従業員の雇用維持に努力される事業主を支援するための雇用調整助成金が利用されています。

課題2) に対する「新事業・新分野への進出を支援する対策」も企業ニーズにきめ細かく応えて取り組んでいこうとしています。



中小企業の金融支援策

利子補給(県が金融機関に対し利子の一部を補給するもの)によって中小企業が低い金利で資金調達出来るシステム。H20年は約28億円の利用。極めて多いと伺っています。損失補償(倒産等で

債務不履行となった場合は信用保証協会が代理弁済を行うが、これによって発生する損失の一部を補償) H20年、約9億円。H21年9月現在、融資実行額は過去最高額の3,753億円。

セーフティ緊急融資は前年度比で売上高または利益率が3%以上減少した中小企業を対象ですが、これも極めて利用者が多い。要件緩和型経営安定資金の需要が多く、セーフティネットをさらに充実させるため、対象業種を上田知事が781業種に拡大。ほとんど全ての業種がこの制度融資の対象となりました。

前政権で「地方分権」と言われていましたが「地域主権」は新政権になり間違いなく大進歩します。権限・財源を移動出来なかった一番の理由は国のキャリアが地方を侮っていること。例えば交付税30億円をA市に渡すと、いろんな人達にたかられ、気付いてみればまちづくりどころか利権争いになり地方には出来ない。これが国のキャリアが言い続けてきたこと。それが新政権の下、政治主導ということで可能になった。もう一つは、地方の首長、議員、市民の意識の高まり。危機感をもってやり通していけるだろうという背景が出てきたことです。「地域主権」は自主自立ですから自己責任。今年も1兆1千億円の地方交付税が増額されましたが、それを食いものにしてしまったら終わりです。これからは監視や意見・提言をしていくことが大事。一丸となって進んでいくべきことで、イデオロギーや個人的な人情等を超え、官と民と経済界が一体となって飯能市を創っていく。そういう段階に来たのではないかと考えております。課題としては道路整備、商業の再編成、文化教育施設・総合病院の充実。革新的ではなく保守的な雰囲気がち全体にある。自然や伝統があるのは飯能だけではない。伸びているところは基盤整備が進んでいる。柱は企業誘致と観光事業。観光も枝葉ではなく幹をつけていくことが大事。

一番申し上げたいのは、市の職員は私達の財産であり私達が雇ったのだということ。職員の力を大いに使い皆で全力を挙げ、今こそ飯能市の全体を作っていくことです。昨年「あと5年」と申しましたから「あと4年」に飯能市が伸びるかどうかがかかっていると思います。一生懸命頑張っていきたいと思います。

第2370例会

1月20日(3、水)

当番 藤原君、細田(徳)君 飯能警察署長

卓話「年頭のご挨拶」 稲田嘉夫様